

延岡市水防センターに関する
意見募集について

令和5年8月

延 岡 市

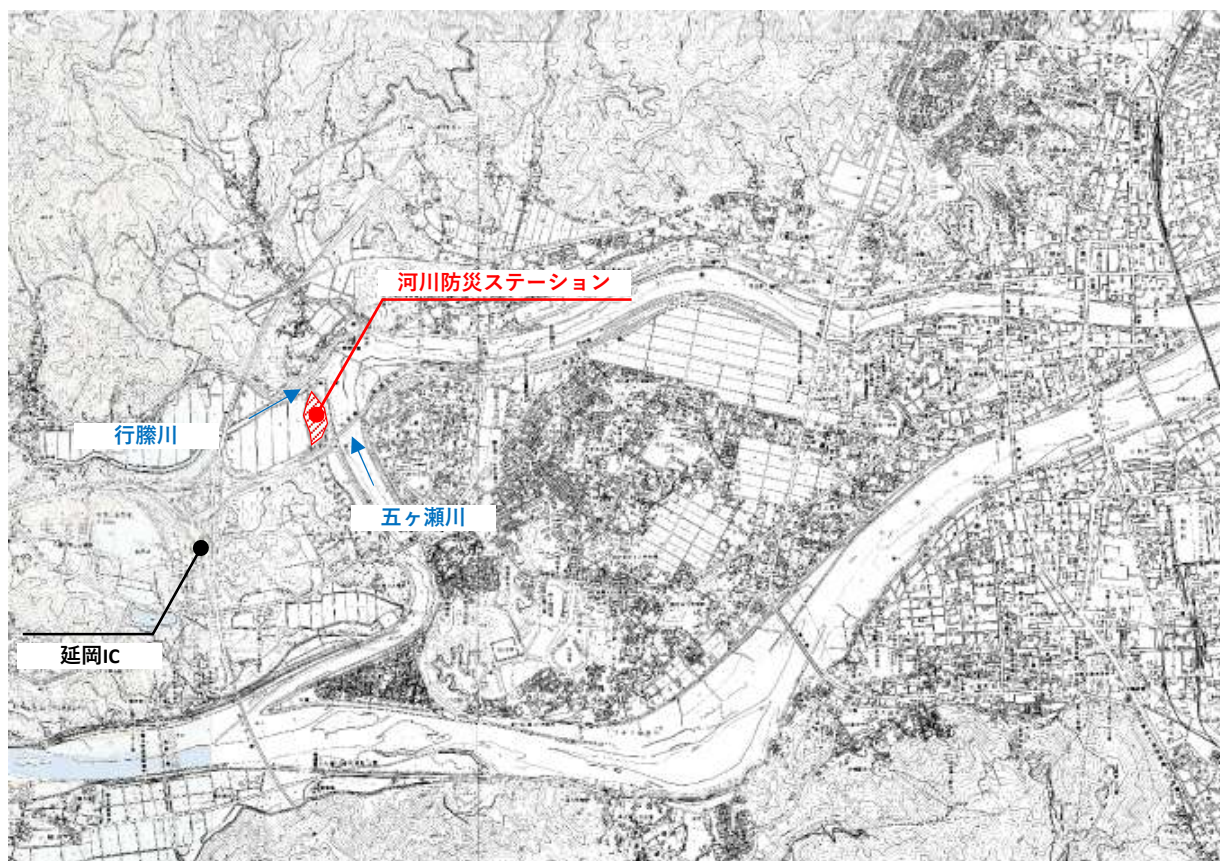
1. 整備の目的、意見募集対象

1-1 整備の目的

現在、洪水時の水防活動や緊急復旧活動の拠点となる施設として、「天下地区河川防災ステーション」の建設が国土交通省により進められております。

この天下地区河川防災ステーションは、五ヶ瀬川水系の洪水被害を最小限とするため、水防活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材を事前に備蓄していくほか、災害対策車庫、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するなど、災害時の活動拠点として活用されることとなっております。

当該箇所は、五ヶ瀬川本川と行滕川との合流点に位置し、東九州自動車道の延岡インターチェンジに近接した延岡市街地にほど近い地点であるため、河川防災ステーションの機能の一部として、本市が水防センターを整備し、災害時には水防活動の拠点とすることや一時的な避難場所とすること、また、防災学習の場とすることなどで市民の防災力向上を図ることを目的に整備を行います。

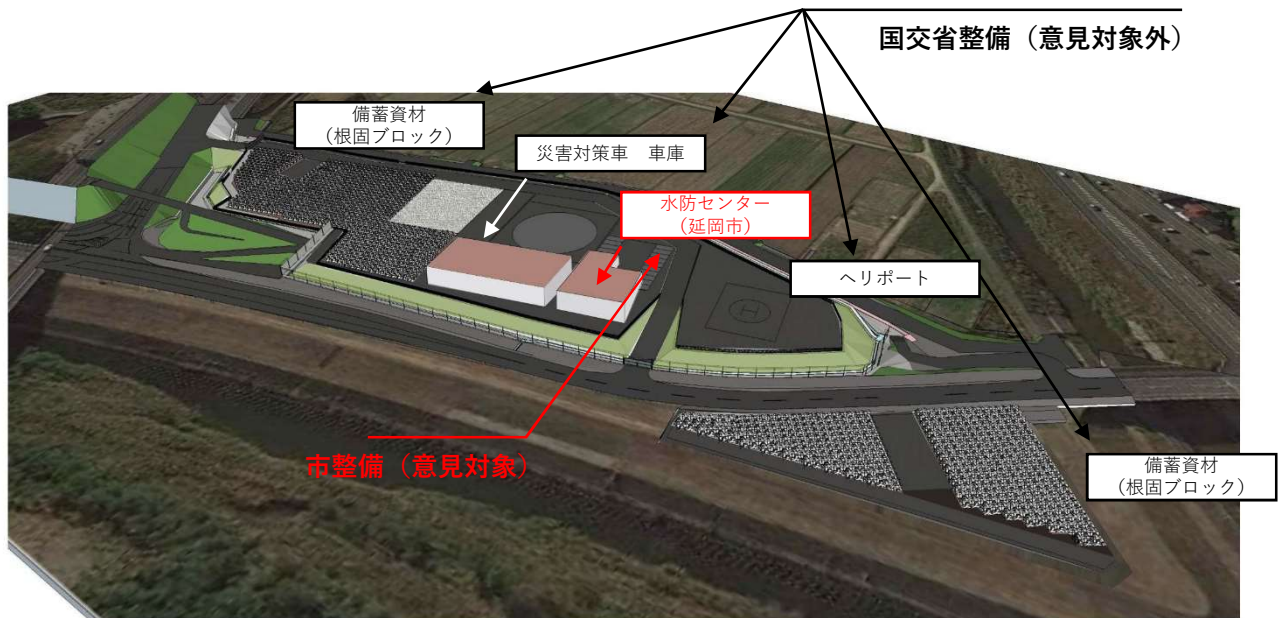


1-2 意見募集対象

天下地区河川防災ステーションのうち、災害対策車車庫・ヘリポート・備蓄資材（根固ブロック）については、国土交通省が整備します。

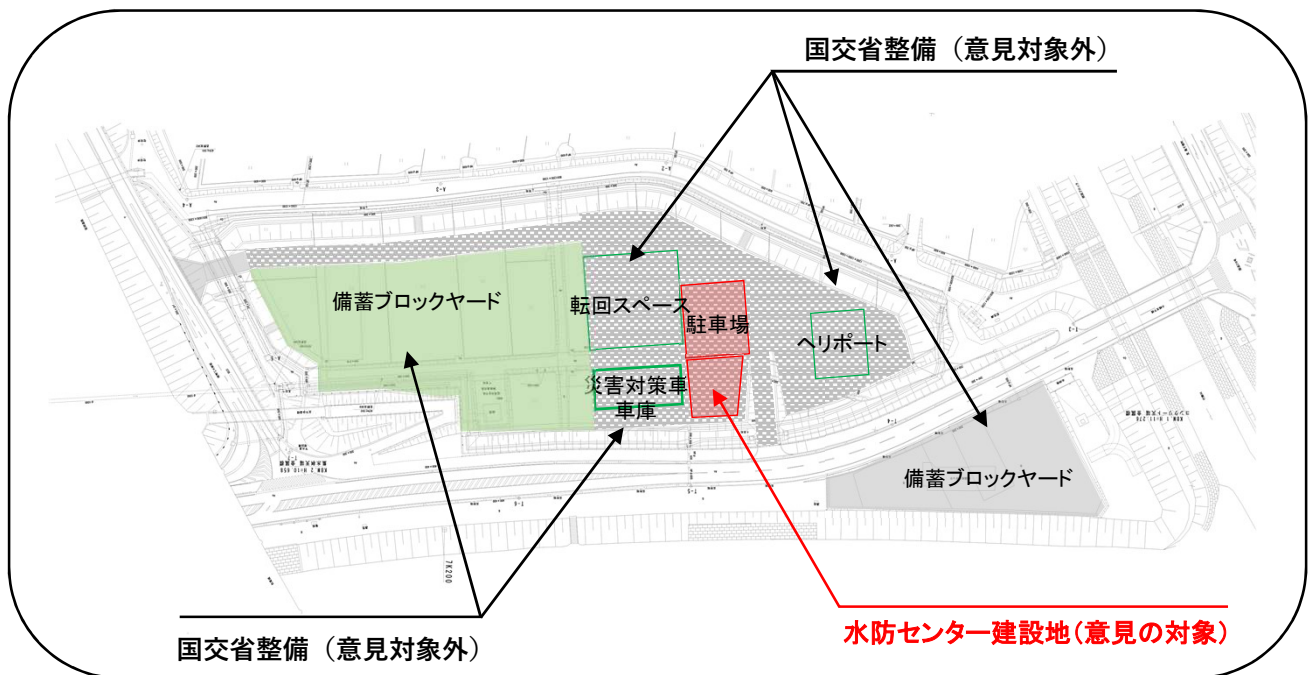
延岡市は、水防活動の拠点となる「水防センター」の整備を行います。

今回、意見の募集は、この「水防センター」の整備についてとなっています。



※出入口周辺において、スロープの整備を予定しておりますが、この完成予想図には、まだ反映されておられません。

【天下地区河川防災ステーション全体完成予想図】



【天下地区河川防災ステーション全体平面図】

2. 整備計画

2-1 整備する機能

□ 平常時の活用について

- ・水防活動の訓練や防災意識の向上を図る防災学習の施設として使用します。

□ 非常時の活用について

- ・水防活動時の待機場所や活動拠点施設として使用します。
- ・風水害時における緊急避難場所として使用します。
(最大で60名程度の避難が可能です。)

□ その他施設の特徴

- ・トイレのみの使用が可能な構造となっています。
(水防活動中などでも靴のままでトイレが使用できます。)
- ・水防団員や避難者も使用できるシャワー室、ロッカー付き更衣室を整備します。
- ・災害対応備蓄品や水などを保管できる倉庫を整備します。
- ・災害用自動販売機を設置します。
- ・市の要請により、想定最大規模の洪水においても浸水しない高さで盛土されています。
(当初計画より約1m、堤防市道より約2m高くなっています。)

※水防団とは水防法に基づき、洪水・雨水出水等の水災を警戒、防除し被害を軽減させることを目的に活動するもので、消防団員が水防団員を兼務しています。

2-2 建物概要・整備費用

□ 構造・規模・敷地高さ

- ・軽量鉄骨造 平屋建て 延べ面積 約300㎡
T. P (東京湾平均海面) 約13.0m

□ 概算費用

□ 維持管理費

- ・約150百万円
- ・約2.5百万円/年 (光熱水費、管理委託費等)

※概算費用・維持管理費は、あくまでも概算であり、今後変更になる可能性があります。

2-3 今後の予定

- ・令和5年度中に水防センターの建設に着手し、令和6年度上半期の完成を目指しています。
- ・本格的な施設の使用は、防災ステーションの全体が完成した後(令和7年度~)を予定しています。
- ・完成後の防災ステーションの維持管理については、国と管理区分を設定した上で協定を結び、市が管理していく予定です。

2-4 完成イメージ



※配色等はあくまでイメージであるため、今後変更になる可能性があります。

2-5 レイアウト図



2-6 完成後の施設利用について

水防活動の訓練や防災意識の向上を図る学習の場としての利用を想定しておりますが、それ以外の利用については、今後、地域の皆さんのレクリエーションの場や河川を中心とした文化活動の拠点として利用していただけるよう考えた上で決定する予定です。なお、災害発生時については、災害対応での利用を優先します。